

# 演習のオリエンテーション

国立保健医療科学院  
生涯健康研究部  
中板育美

# 広域的事業評価/評価支援 演習の目的

特定健診・保健指導事業を広域的にかつ効果的に評価していくために、現時点での評価体制や評価内容・評価の実際についての課題を整理するとともに、その課題に対する解決策を考える

\* 本演習で考える評価

各政令市・中核市・市町村等

自組織の特定健診・特定保健指導の成果の評価

都道府県や国保連合会等関係団体

広域的立場での評価

各市町村が行う事業評価の支援

# グループ分け（別紙参照）

- 広域評価および各自治体の評価支援を行う各都道府県と関係団体，自組織の評価を行う各市で分けています。
- 5～7県あるいは市，または関係団体で1グループを構成。

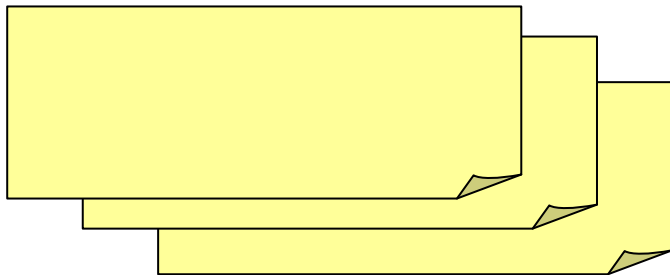
①現時点における事業評価/評価支援に関する  
課題の整理，解決策の検討  
【個人作業】10：00－10：20

1. 各個人で特定健診・保健指導の事業評価/評価支援に  
関して，

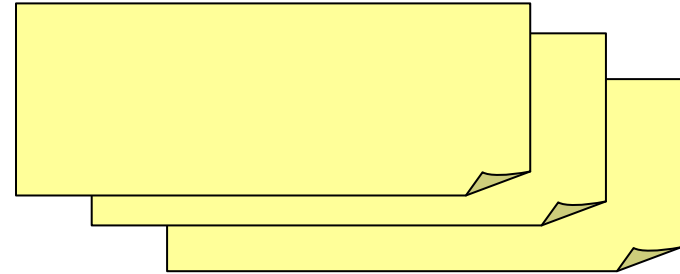
・現時点での問題点（うまくいっていない点）

・成功点（うまくいっている点）

を思いつく限り，できるだけたくさんポストイットに  
マジックペンで記入する。




## カードづくりの5つのルール



- 1枚の紙にはひとつの意見を書く
- 主語をはっきり書く（例えば「関係機関が」「実施機関が」ではなく、具体的に）
- 具体的に書く（例えば「連携できていない」ではなく「評価WGへの参加者が入れ替わりでお客様である」など。
- 「書いたら恥ずかしいこと、いけないこと」は何もない
- 大きな字で、わかりやすく書く

## ②現時点における事業評価/評価支援に関する 課題の整理，解決策の検討 【班単位】 10：20-11：20

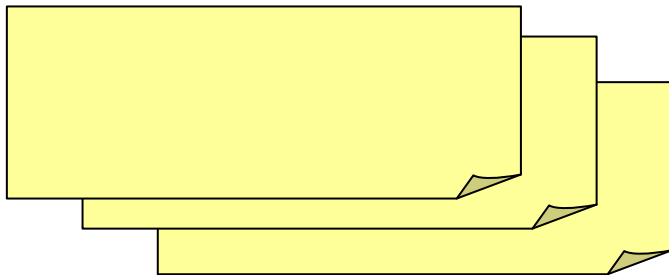
各自が書いたポストイットを，模造紙の  
2×2フォーマット（下記）で適切と思われる場所に貼る。  
同じ内容は重ねて貼る。

	コントロールできる	コントロールできない
うまくいっている	よくやった！ えらい！	神様ありがとう
うまくいっていない		愚痴 ぐち

左記フォーマットにおいて、  
「コントロールできる」とは自分  
がその現状に対して何らかの  
影響を及ぼすことができること  
をいう。  
一方、「コントロールできな  
い」とは自分がその現状に全く  
影響力を持たない状態を指す。

## 貼るとき、話し合うときの5つのルール

- メンバーの合意で貼る
- 人の意見を否定しない（批評家にならない）
- ノートをとらない（傍観者にならない）
- 少数意見もどこかに残す（怪しげな意見も認める）
- 沈黙は罪

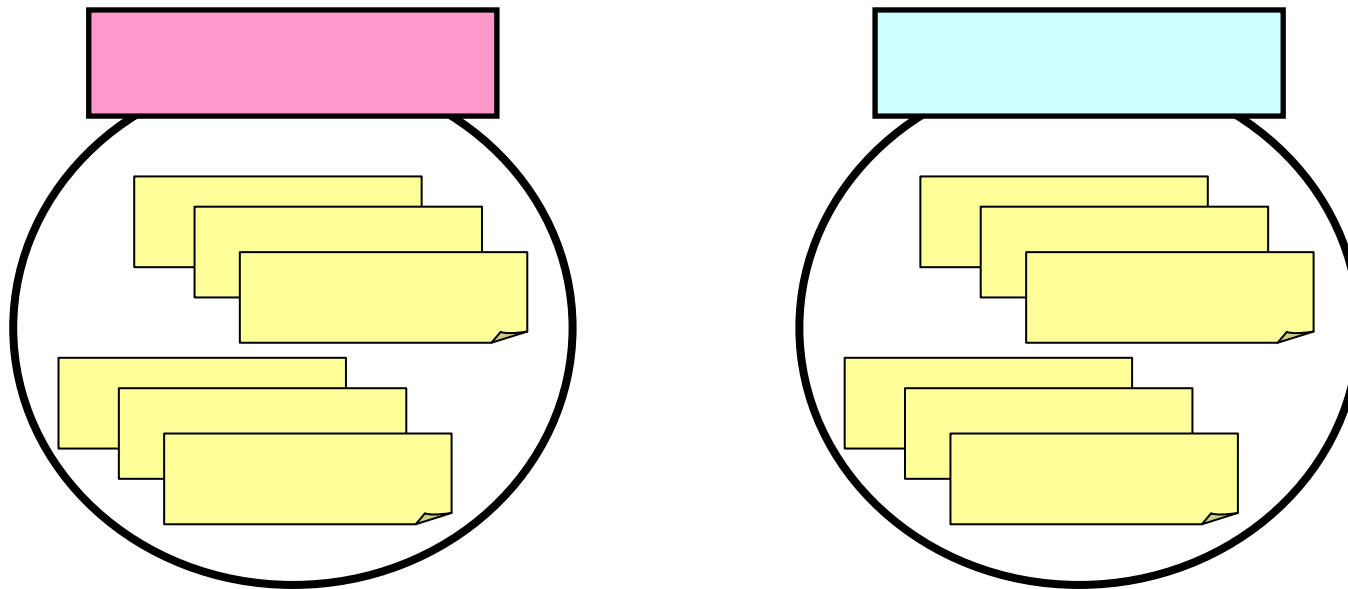




③現時点における事業評価/評価支援に関する  
課題の整理，解決策の検討  
【班単位】 11：20-11：50

2×2フォーマットの中で「うまくいっていない」が「  
コントロールできる」項目について検討する。

似たものをまとめてグルーピングし，名前を付ける。



昼休み (11 : 50—12 : 50)

④現時点における事業評価/評価支援に関する  
課題の整理，解決策の検討  
【班単位】 12：50-13：50

いくつかはグループ化された各問題点の解決方法（解決のためにできること，すべきこと）を考えて，問題点とともにA4版白紙1枚（配布）に簡単にまとめて，担当のファシリテーターに提出する（様式自由）。

Aグループ 1班	
課題	1
	2
	3
解決案	
	1に対して…
	2に対して…

⑤現時点における事業評価/評価支援に関する  
課題の整理，解決策の検討  
【グループ単位】 13：50-14：20

**【発表会】**

グループごとに集まり，  
ファシリテーターの司会でお互いの検討結果  
を発表する。

(1グループ5分以内)

⑥現時点における事業評価/評価支援に関する  
課題の整理，解決策への反映  
【都道府県・団体単位】 14：20—15：30

演習で得た課題の整理，および解決策を事前課題の事業評価/評価支援に関する様式に反映させる。加筆修正した事業評価/評価支援に関する様式(成果物)は，15：00までに各教室の教卓上パソコンのデスクトップ上のフォルダーに提出する。

なお，加筆修正箇所は，アンダーラインで示すこと。

## 成果物の提出

- ファイル名：「都道府県名」または「団体名」のみ（例：青森県，〇〇会）
- ファイル内の各シートにも「都道府県名・団体名＋簡潔なタイトル」を付けて下さい（例：北海道全体計画，新潟県〇〇対象研修）。
- 提出されたファイルは，まとめて，後日，ホームページ上に参加者のみ閲覧・ダウンロード可能な状態でアップします。

※1 都道府県グループについては、事前に準備した「平成23年度特定健診・特定保健指導の広域的な事業評価の支援について（様式1）」ファイルをもとに、メンバーで話し合っ、都道府県全体の事業評価支援がよくわかるように1つのエクセルファイルにまとめる。ファイル名は、必ず都道府県名（または団体名）にすること。

市の計画等も1つの都道府県ファイルに入れること。

※2 医療保険者（国レベル）・関係団体グループについては、団体間で情報交換をしながら、団体ごとに評価支援を修正すること。現在、評価支援を予定していない団体は、他の団体を参考にしながら、実施すると仮定して作業を進めること。

※3 提出用のパソコンがない部屋（3-6グループ研究室は4-1講義室，3-2，3-4グループ研究室は3-5講義室，3-1グループ研究室は3-4講義室のパソコンに入れること。

15:30 - 15:40

本館2階交流対応大会議室へ移動



# 全体まとめ

15:40 – 16:00

全体の総括：各ファシリテーターから担当グループの検討結果について、コメントとともに報告する。

## その他（1）

- グループごとに担当ファシリテーターが巡回するので、質問等はその時にお願いします。
- ノートパソコンを持参できなかった団体は、まとめる段階で担当者によって下さい。本館3階のPC室（エレベーターそば）も利用できます。
- 作業中のプリントアウトは担当者に相談して下さい。ただし、1セットのみ。

## その他（2）

- 成果物の内容については，細かい様式は問いません。
- 休憩は各グループで適宜とって下さい。
- 時間も限られていますので，移動は「迅速に」，作業は「効率的に」お願いします。